

舞鶴市の財政状況

ここでは、一般会計における決算状況である歳入総額約 380 億円と歳出総額約 377 億円を、月収 38 万円の家計に置き換えてみました。

市の決算は、金額の規模も大きく、用語もわかりにくいよね。だから、一般の家計に例えて、市の決算や財政状況について説明するよ。こうすると自分の生活と比較できるし、舞鶴市のお金の動きが分かりやすくなるよ。

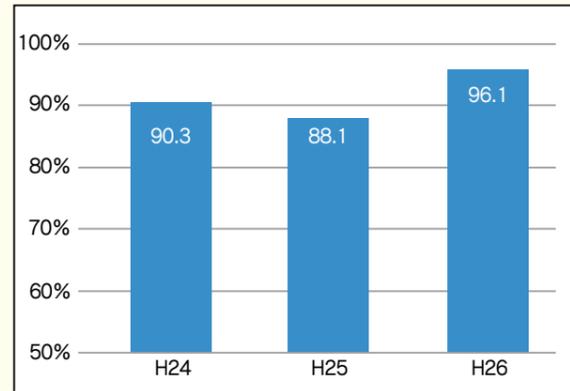


◆舞鶴市の家計簿 ～月収38万円の家計に例えてみたら～

項目	金額	市の財政に当てはめると
給料	153,000	市税、使用料、諸収入など
親からの援助	152,000	地方交付税、国・府支出金など
前月からの繰り越し	6,000	繰越金
貯金取り崩し	22,000	繰入金
ローン借り入れ	47,000	市債
計	380,000	

項目	金額	市の財政に当てはめると
食費	65,000	人件費
医療費・教育費	82,000	扶助費
光熱水費・日用品費	47,000	物件費
町内会費・サークル会費	27,000	補助費等
家の増改築	65,000	普通建設事業費
車の修理代	2,000	維持補修費
友人への貸付	7,000	出資金・貸付金
子どもへの仕送り	44,000	繰出金
貯金	2,000	積立金
ローン返済	36,000	公債費
計	377,000	

◆経常収支比率



「けいじょうしゅうしひりつ」とはどういう意味？
難しくてよく分からない！



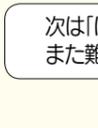
簡単に言うと「エンゲル係数」なんだけど、家計で例えると必ず必要な「食費」「医療費・教育費」が、家計全体でどのくらい占めているかを、市の決算で表したものが「経常収支比率」だよ。



この比率が高くなるとどうなるの？



市として色々な取り組みをするための、自由に使えるお金が少なくなってしまうんだ。市では、「経常収支比率」を80%台にすることを目標に、経費の節約にこれからも取り組んでいくよ。



次は「けんぜんかはんだんひりつ」？
また難しい言葉…。

◆健全化判断比率

財政状況シグナル

項目	舞鶴市	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	10.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	99.1%	350.0%	

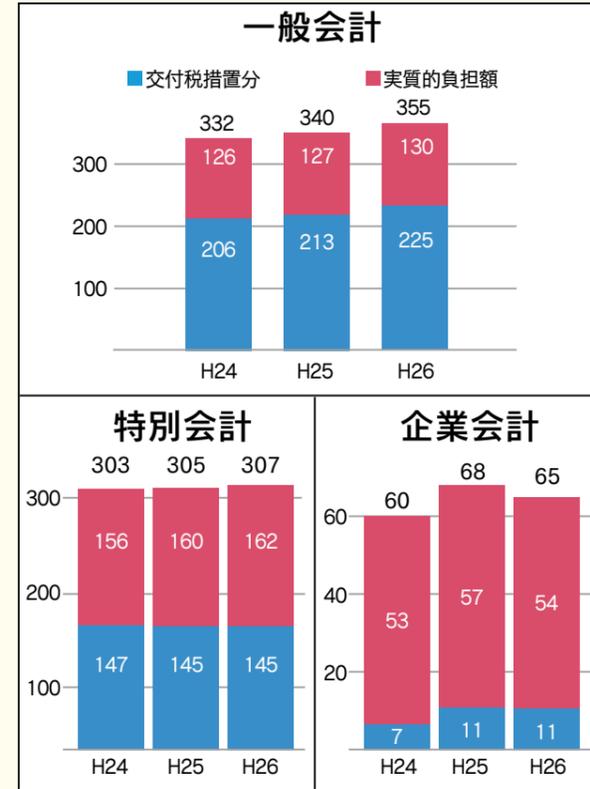
※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため数値が算出されません。



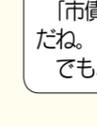
んーそうだね…。
「実質公債費比率」は、その年の家計収入に対してどれくらい「ローン(市債)」の返済割合があるかを表し、「将来負担比率」は、これから先、支払わなければならない「ローン(市債)」などが、家計収入に対してどれくらいあるかを表したものだ。こうした指標が高くなりすぎないように注意しながら、計画的にやりくりしているんだよ。

◆ローン(市債)の状況

(単位:億円)



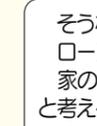
最後は、市債と基金について見てみようか。



「市債は、借りたお金」「基金は、貯金」って考えると簡単だね。
でも、なんで貯金があるのにお金を借りたりするの？



良い質問だね。でも、家庭とは少し違う部分もあるから、詳しく説明していくよ。
大きな買い物をするときに全て「貯金(基金)」を崩してしまうと、急にお金が必要なお金が必要になったときに大変になるんだ。だから、「ローン(市債)」をうまく使って「貯金(基金)」が減らないように工夫しているんだよ。
それと、家庭とは違う点として「ローン(市債)」を組むと、「親からの援助(地方交付税)」が増やしてもらえるから家計が助かるんだ。
また、何十年も使う公共施設は「ローン(市債)」を組むことにより、将来使う人にも公平に費用の負担をしてもらうことができるんだよ。
家の「ローン(市債)」を子どもと2世代で組むのと同じだね。



そうなんだ。
ローンを組んだ方が得する場合もあるんだね。
家のローン返済の一部をおじいちゃんが助けてくれると考えると分かりやすいね。
じゃあ、貯金は使わないの？



基金には、突然の出費や収入が減ったときに備えたり、何か大きな「買い物」や「家の増改築」をするために積み立てを行う場合もあるんだ。
平成26年度は、みんなの舞鶴が豊かで暮らしやすくなるための取り組みに基金の一部を使ったよ。



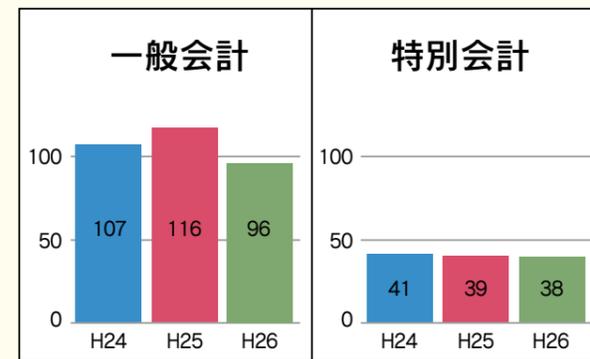
「貯金」を使ったりするには、私みたいにお父さんの了解が必要だったりするの？



「貯金(基金)」を使ったり「ローン(市債)」を組んだりするには、「予算」というお金の使い道を決めた予定帳に定めなければならないんだ。この「予算」の内容はみんなの代表(市議会)に無駄遣いになっていないかチェックしてもらわないと、勝手に使えないようになっているよ。
これからも、「ローン(市債)」や「貯金(基金)」にあまり頼らないで、健全な「家計」が維持できるよう頑張っていくよ。

◆貯金(基金)の状況

(単位:億円)



企業会計・特別会計 決算状況

企業会計は、民間企業と同様に、事業収益で運営されている会計です。
特別会計は、目的が決まった特定の事業を行う場合に、使用料などの収益をもってその事業の経費を賄うため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

会計	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	17億6,811万円	16億9,908万円	1億3,697万円	9億7,140万円
病院事業	10億6,312万円	10億6,313万円	4,121万円	6,130万円

会計	収入	支出
国民健康保険	92億6,101万円	91億2,970万円
簡易水道	6億4,887万円	6億3,986万円
土地建物造成	3,846万円	380万円
貯木	48万円	48万円
下水道	46億1,078万円	46億832万円
駐車場	6,737万円	2,949万円
介護保険	78億6,534万円	74億6,846万円
後期高齢者医療	11億2,005万円	11億1,469万円